



運動器障害の医療・福祉

保健福祉学部 理学療法学科
教授 沖 貞明 (おき さだあき)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3523号室
Tel 0848-60-1256 Fax 0848-60-1256
E-mail oki@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： リハビリテーション医学, 整形外科

キーワード： 廃用症候群, 脊椎疾患, 脊髄疾患

● 主な取り組み・活動

1. 三原キャンパス診療センターと関連医療機関における医療・福祉活動

○ 肢体不自由を中心とした身体障害者のリハビリテーション

三原キャンパス診療センターに紹介される患者の理学療法・作業療法・言語聴覚療法の処方を行い、各療法士と共同してリハビリテーションをすすめています。さらに、上下肢装具・義肢・車いすなどの福祉用具の相談や処方、各種の福祉制度に関連する書類作成をおこなっています。

○ 脊椎・脊髄疾患の診断と治療

厚生労働省国民生活基礎調査において、腰痛や肩こりといった脊椎・脊髄に関連する症状は常に訴えの上位にあげられています。このように脊椎・脊髄疾患は非常にありふれた疾患にもかかわらず、正確な診断・治療は必ずしも容易ではなく、治らないということで多くの医療機関を渡り歩く患者が多く存在します。これらの脊椎・脊髄疾患の診断と治療に関する臨床研究を行っています。

2. 筋骨格系の廃用症候群の予防に関する基礎的研究

様々な疾患の急性期には、安静が必要とされています。しかし、安静は人間の身体に廃用症候群を生じさせ、健康的な生活への復帰の妨げとなります。廃用症候群における筋骨格系の病態を明ら

かにし、その発生を防ぐ基礎的研究を行っています。現在は、動物実験レベルでの効果を確認するのみですが、臨床応用の方向で研究を進めています。

○ 安静時においても、筋萎縮を生じさせない適切な運動量の解明および物理療法の開発

○ 関節の自動運動が不可能な状態における、関節可動域制限を生じさせない適切な運動量の解明および物理療法の開発

○ 一般的には筋肥大や筋力増強が生じないと考えられている条件下での、筋肥大・筋力増強の方法の開発

● 今後の目標・抱負

基礎的な研究を臨床に還元できるように考えながら、常に研究を進めて行きたいと考えています。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

他の医療機関・福祉施設と連携しての地域医療・福祉の推進を進めていきます。

● これまでの連携事例・実績

○ 三原シティカレッジ: ウォーキングで注意するポイント、佐木島でウォーキング、脊椎・脊髄疾患と画像診断

○ 三原市滞在型体験ツアー特別講義

○ 福山商工会議所が経済産業省と福山市より受けた「小規模事業経営支援事業補助金」に基づく「地域振興活性化事業」